

地域連携・医療福祉相談室だより



新年度の御挨拶

院長 平井 文彦

桜の知らせを聞くと、いよいよ春という感じで、世の中は、高揚した雰囲気が漂いますが、医療関係者には、H26 年度の診療報酬改定では厳しい嵐が吹きそうで、なかなか花見気分になれそうにもありませんね。

本院にとっても、例えば、1) 急性期病院の施設基準のハードルアップ、2) 7:1 看護体制への締め付けなど、克服すべき課題がいろいろございますが、今回の改定でも、地域医療の連携の充実はますます強く謳われています。本院は、以前より、地域に根差して活動し、高度急性期病院と療養病院・在宅医療の間をつなぐ良好な架け橋として役立つことを最大の使命と考え、地域連携室の充実、電子カルテの導入などに取り組み、今後ますます進む医療機能分化に、極めて円滑に対応できると考えています。一方、急性期病院とし、耳鼻科診療体制の充実、高齢化社会に対応すべく成人病に造詣のある老年内科医による診療、地域の小児医療に貢献する長年にわたる小児科診療、さらには痔疾患をはじめとした肛門疾患のエキスパートによる診療も行っております。医療機器では、マルチスライス CT、マンモグラフィ、骨量測定器、消化器内視鏡などを整備し、熟練の超音波検査技師なども配置し、地域の先生方が期待する診療は十分に行えるレベルにあります。さて、ここで誤解を解いておきたのですが、昨年秋の新聞報道の通信病院の整理統合の話が巷間流布しているようですが、京都通信病院は決してそうではありません。当院本社からは「京都通信病院は、整理統合の対象ではない」と明言されております。噂話に惑わされることなく、実懇なお付き合いのほどよろしくお願い申し上げます。当院本社である日本郵政のモットーは「お客様第一主義」です。京都通信病院は、安心して頂ける医療を提供することを第一に、地域に役立ちたい、それこそが使命でもあると考えています。どうか、今年度もよろしくお願い申し上げます。

当院では、患者さまに待ち時間を短くスムーズに診療・検査を受けていただけるよう予約をお受けしています。

1. 診療・検査依頼書（FAX 送信票）に記入の上、地域医療連携室まで FAX してください。
2. 時間等調節後、折り返し 診療・検査予約票を FAX にてお送りします。
3. 患者さま来院時ご持参いただくもの：予約票、診療情報提供書、健康保険証、当院の診察券

※診療・検査依頼書は、京都通信病院のホームページからもダウンロードできます。

ご利用ください。

<http://www.hospital.japanpost.jp/kyoto/>

内科より

第 6 回 糖尿病教室

★ 4 月 10 日 木曜日

15:00～16:00

会議室にて

【内 容】

- ① 糖尿病の合併症予防
～神経障害と足病変について～
- ② フットケアについて
血糖自己測定・インスリン自己注射について
＝お問い合わせ、お申込みは内科外来まで＝